

平成 29 年度市町村がん検診担当者会議の開催結果について

「市町村がん検診担当者会議開催要領」に基づき、平成 29 年度に県内市町村がん検診担当者を参集し開催した担当者会議の結果を取りまとめた。

1 会議の開催実績

- ・日時・場所： 平成 29 年 9 月 20 日（水）午後 1 時から午後 4 時まで
松本合同庁舎 502 号会議室（松本市大字島立 1020）
- ・出席者： 市町村 76 名、保健福祉事務所 7 名、検診実施機関 8 名

2 開催結果の概要について

(1) がん検診の精度管理に関する講演

- ・株式会社キャンサーズキャン（厚生労働省の委託を受け、受診率向上ハンドブック等を作成した企業）による講演

(2) 市町村がん検診における精度管理について

- ・チェックリスト及びプロセス指標の説明

(3) 県又は他機関への要望・意見等（会議内で回答）

| 質問・意見 | |
|-------|--|
| 1 | 検診率の算出方法について、人間ドックの受診率が高い場合、反映されないのはどうしたものでしょうか。 |
| 2 | がん検診の精度管理をきちんと行えていない状況なので、研修会で市町村がやるべきことがしっかり学べるとよいと思います。 がん検診の対象年齢をどのように考えたらよいのか？例えば子宮がん検診はいつまで受けるべき？という質問をよく受けますが、どのように住民さんに説明をしたらよいのか考えてしまいます。 |
| 3 | 勉強不足の質問だったら大変申し訳ないのですが、胃がん検診（バリウム）の年齢制限は今後設けられる予定はあるのでしょうか。 |
| 4 | 乳がん検診で 40 歳未満の超音波検査の実施について考え方や参考になる根拠資料等を教えて頂きたいです。 |
| 5 | 国保保険者努力支援制度の評価指標の中でがん検診の受診率があるが、評価指標と当市の検診対象年齢や実施体制と異なるため、評価の受診率が低くなってしまふ。当市は肺がん検診を 3 年間隔で CXP にて実施しているが、この場合評価上は実施している事にならない。 他市町村の状況及び、県全体として国に見直しや要望等を出す事はできないか？ |